

令和7年10月27日
国立大学法人長岡技術科学大学
学長選考・監察会議

学長の業務執行の状況の検証結果について

国立大学法人長岡技術科学大学学長選考・監察会議規則第4条第3項に規定する学長の業務執行の状況の検証を行いましたので、その結果を公表します。

1. 検証のプロセス

令和7年度第2回学長選考・監察会議（令和7年9月19日開催）において、以下の資料、学長のプレゼンテーション及び学長選考・監察会議委員との質疑応答により検証した。

- ・学長選考の基準（平成27年1月27日付け学長選考会議決定）
- ・学長選考時における所信（令和2年8月28日学長選考会議公示）
- ・令和6年度の計画に係る中期目標・中期計画等進捗状況に関する自己評価書
- ・監事の監査結果報告書（令和6事業年度監査報告書）
- ・令和6年度の業務執行状況の説明資料（プレゼンテーション資料）

なお、検証にあたり、監事から令和6年度の監査業務における意見を聴取した。

2. 検証結果について

令和6年度における学長の業務執行の状況については、適切に執行されていると判断する。

中期計画の達成状況を指標に基づいて正確に把握し、未達成項目については原因分析と改善策の検討を行うなど、教育研究の質向上に向けた着実な努力が評価される。また、国際連携や異分野融合を通じたソーシャルインパクトの創出は、教育研究の幅を広げ、質の高い成果を生み出すことが期待できる。

外部役員の登用、人材採用を積極的に進め若手教員や女性教員、外国籍教員の採用も順調に増加しており、多様性の向上が見られる。

競争的資金や共同研究経費の外部資金獲得が順調であることから、財務基盤が強化され、施設改修が進められている。一方で、教員の業務量の増加、事務負担の増加が懸念され、教育や学生指導の時間をより効果的に確保し、両立を図ることが重要である。

以 上